

# 日本禁煙科学会 学会賞



漢 二美氏（一般社団法人大分県タクシー協会会長）

## 【受賞理由】

### 日本初の県単位でのタクシーの全車禁煙化の実施

2007年に日本で最初に、県単位でのタクシーの全車禁煙化を実施した。タクシーは当時、喫煙者が自由に喫煙できる動く個室と考えられ、全車禁煙化は考えられないとされていたが、受動喫煙防止の観点からタクシーの禁煙化を提唱し、大分県タクシー協会会長として県単位でのタクシー全車禁煙化を実施した。この動きは全国に大きな影響をあたえ、以後タクシーの禁煙化はすべての都道府県に広がり、日本全体の受動喫煙防止の推進に大きく寄与した。

## 【略歴】

昭和21年1月30日生。大分県立大分上野丘高等学校、日本大学工学部卒業。昭和62年大分タクシー株式会社専務取締役役に就任。現在、大分シティタクシー株式会社、株式会社シティタクシーホールディングスほか、計10社の代表取締役を務めるとともに、一般社団法人大分県タクシー協会会長、一般財団法人全国福祉輸送サービス協会会長など多数の公職を兼任している。

大分陸運支局長表彰（平成11年11月）、九州運輸局長表彰（平成15年10月）、国土交通大臣表彰（平成19年10月）、全日本こうつう安全協会会長表彰（緑十字同種銅賞 平成21年9月）、大分県知事表彰（平成21年11月）、中小企業庁長官表彰（平成28年11月）のほか、平成28年11月3日には旭日双光章を受賞している。

平成19年、大分県タクシー協会会長として日本で最初に県単位でのタクシーの全車禁煙化を実施した。タクシーは当時喫煙者が自由に喫煙できる「動く個室」と考えられ、個別の禁煙タクシーはあったものの、行政単位での全車禁煙化は考えられないとされていた。乗務員や他の乗客の受動喫煙防止の観点からタクシー禁煙化の必要性を強く提唱し、大分県タクシー協会会長として県全体でのタクシー全車禁煙化を実施した。同時にKK大分・日本禁煙科学会の協力のもとに、タクシー会社従業員に対する禁煙教育にも力を注いできた。この動きは全国に大きな影響をあたえ、現在タクシーの禁煙化はすべての都道府県に広がり、日本全体の受動喫煙防止の推進に大きく寄与した。